

令和5年度「コマツ就学支援一時金」

申請希望者用資料

1. コマツ就学支援一時金（以下、「一時金」という）の概要について

(1) 対象者（本科1年生～3年生に限る）

令和5年度後期授業料の納付期限前1年以内において、次のいずれかに該当し、経済的理由により就学が困難と認められる者

ア 大規模災害等に被災し、居住している家屋が全壊、大規模半壊又は半壊の被害を受けた者

イ 学資負担者が死亡した者

ウ 社会的養護を必要とする者

エ 学資負担者が非自発的な事由により失職した者

オ その他前各号に準ずる場合であり、校長が経済的理由により就学が困難と認める者

上記ア～オを満たす者が存在しない場合（希望者がいなかった場合）、次の基準を全て満たす者

ア 世帯員全員の住民税（市町村民・都道府県民税）が非課税である者

イ 申請年度においてその前年度と同一学年にとどまっていない者

ウ 入学後懲戒を受けていない者

(2) 採用者数

本校 1名のみ

※複数名の申請があった場合には、学内で家計評価額により審査をし、経済的困窮度の高い者を推薦します。

(3) 給付額

100,000円（増額となる可能性あり）

※一時金ですので、継続的な支給は行われません。

(4) 給付時期

令和6年3月

=====
◎申請書提出期限：令和6年1月19日（金）16時まで

- ◎提出書類
- ①コマツ就学支援一時金給付申請書
 - ②口座振込依頼書
 - ③口座名義及び口座番号の写し
 - ④コマツ就学支援一時金家計評価額算出用申請書類

◎推薦について

申請書類提出後、複数名からの申請があった場合には、授業料等の免除及び徴収猶予取扱要領に規定されている家計評価額を算出し、経済的困窮度が高い者を高専機構本部に推薦いたします。本校推薦限度数が決まっておりますので、ご了承ください。

=====

コマツ就学支援一時金 給付申請書

申請年月日 令和 年 月 日

ふりがな		所属学校	高等専門学校		
申請者氏名		キャンパス		学年	
ふりがな		<small>※複数ある場合のみ</small>			
保護者等氏名		所属学科等			

申請理由について記入して下さい。

※授業料免除申請をしている場合は以下記入不要

本人 連絡先	〒 ————— 方				
	TEL :	—	—	E-mail :	————— @
保護者等住所	〒 ————— 方				
	TEL :	—	—	E-mail :	————— @
家族の状況(生計を一にする者について下記事項を記入のこと)					
氏名	続柄	年齢	同居・別居	職業(勤務先、学校名等)	年収(円)
合 計					

口座振込依頼書

令和 年 月 日

独立行政法人国立高等専門学校機構理事長 殿

国立高等専門学校機構から私に給付されるコマツ就学支援一時金は、下記の口座に振り込み願います。

所属学校	(所属学校) 高等専門学校						
フリガナ	(フリガナ)						
奨学生氏名	(氏 名)						
保護者氏名	(氏 名)						
住所							
郵便番号							
電話番号							
振込先金融機関	銀行 その他()	金融機関 コード					
支店		支店 支店コード					
預金種別	1 普通 2 当座 9 別段						
口座番号							
口座名義 (カタカナで記載)							
※振込依頼人名							
※振込手数料							
備考							
※処理	担 当 者						

- 注1 振込口座は、必ず本人名義の口座を指定してください(保護者名義の口座は不可とします)。
注2 振込先にゆうちょ銀行の口座を指定する場合、通帳やキャッシュカードに記載されている記号・口座番号ではなく、『他金融機関からの振込用の口座番号』として取得した口座番号を記入いただく必要がありますので、『他金融機関からの振込用の口座番号』がない場合は、ゆうちょ銀行・郵便局の窓口に通帳を持参し、印字してもらった『店番』を「支店コード」欄に、『口座番号』を「口座番号」欄に記入してください。
注3 ※印の欄は本機構で記入する項目ですので、記入しないでください。
注4 記載内容に誤りがないかを必ず各高専でチェック(通帳等との突合)してください。

令和5年度コマツ就学支援一時金家計評価額算出用申請書類

〈提出期限等〉

提出先：学生課学生支援係

提出書類	受付期間
<ul style="list-style-type: none"> ・ 家族状況等申告書（様式2） ・ 各種証明書（様式3～様式9） ・ 令和5年度（令和4年（2022）1月～12月分）「所得額・課税額証明書」（世帯全員分） ・ 住民票（世帯全員分） 	<p>令和6年1月19日（金）16時まで ※平日のみ受付。 各日とも受付時間は 9：00～16：00までとなります。</p>

〈注意事項〉

1. 申請書類等に虚偽があったときは、許可を取消す場合があります。
2. 申請書類に不備・不足がある場合は受付できません。
3. 申請書類はペンまたはボールペンで記入してください。（消せるボールペンは使用不可。）
4. 免除申請では「マイナンバー」の記載のある書類を受理できません。書類を提出する際は必ず、マイナンバーの記載のない証明書類か、マイナンバー部分を読み取り不可能になるようマジック等で黒塗りした証明書類を提出してください。（例：住民票等）
5. ご不明な点等ありましたら、学生課（TEL：0246-46-0734）までお問い合わせください。

I 提出書類様式

注）令和5年度後期授業料免除における基準にて家計評価額を算出しますので、令和5年10月1日時点での学年・状況を記載願います。

（様式2）	家族状況等申告書	}	様式3～様式9は 該当する場合、提出。
（様式3）	給与支給（見込）証明書		
（様式4）	退職及び退職金支給証明書		
（様式5）	無収入申立書		
（様式6）	母子・父子世帯等申立書		
（様式7）	在学及び就学状況等証明書		
（様式8）	長期療養者に係る支出（見込）額等申立書		
（様式8-1）	長期療養証明書		
（様式9）	主たる学資負担者（家計支持者）別居に係る支出（見込）額等申立書		

II 提出書類

1 全員が提出するもの

申請区分	提出書類	発行機関等
申請者全員提出	1 家族状況等申告書	(様式2)
	2 市区町村発行の「所得額・課税額証明書」 ・ 令和5年度(令和4年分) ・ 免除申請者と生計を一とする ^{注1} 世帯の全員分を提出(申請者(学生)本人、就学者、15歳未満、専業主婦等の無職無収入の者も含め全員分) ・ 収入金額(控除前の金額)、合計所得金額、課税標準額、市民税・県民税額、所得控除の内訳を記載したものを提出 ・ マイナンバーの記載のない証明書 若しくはマイナンバー部分を黒塗りした証明書を提出	市区町村役場
	3 住民票 ・ 免除申請者と生計を一とする世帯全員分 ・ マイナンバーの記載のない証明書 若しくはマイナンバー部分を黒塗りした証明書	市区町村役場
	4 コマツ就学支援一時金対象内容が分かる書類 ア 家屋が全壊・半壊の被害を受けた者は罹災証明書 イ～オ 内容が分かる書類があれば、提出。なければ 給付申請書に申請理由を詳細に記載。	

(注1) 「申請者と生計を一とする」とは、家計支持者、同居している者、所得税法上、父母等の扶養下である者をいいます。つまり、別居していても所得税法上の扶養から外れていなければ、生計を一にすることとなり、家族状況等申告書への記入、所得額証明書、住民票の提出及び収入に係る関係書類の提出を必要としますので十分注意してください。
なお、祖父母等で同居している者は、生計を一にすることとなります。

2 該当者が提出するもの

「家族状況等申告書」(様式2)の「回答欄」で「はい」に該当する事項については、「提出書類」欄に記載のある書類を漏れなく提出してください。

3 提出書類の注意事項

免除申請では「マイナンバー」の記載のある書類を受理できません。書類を提出する際は必ず、マイナンバーの記載のない証明書類か、マイナンバー部分を読み取り不可能になるようマジック等で黒塗りした証明書類を提出してください。(例：住民票等)

III 記入要領

〈様式2 家族状況等申告書〉

「II 家族及び所得」について

申請時現在の家族構成に基づいて各項目を記入する。同居・別居を問わず、申請者と生計を一にする者全員を記入すること。

(1) 別居独立の生計を営む兄弟姉妹は記入しないこと。

なお、住民票上、世帯分離している場合でも、同居している(住所が同一)場合は「生計を一にしている」とみなします。

ただし、同一住宅であっても、玄関・台所・風呂が別々で、二世帯の「電気・ガス・水道料金」等の最新の領収書等の写し(別生計を証明できるもの)の提出があれば別生計を認めます。

(2) 職業は具体的に記入すること。(年金受給者、専業主婦、パートタイム等でも記入。)

(3) 家計支持者に○印を、家族と別居の者には×印を、「氏名(年齢)」右の区分欄に記入してください。

(4) 「就学者のみ記入」欄について

ア 学校名、学年等を記入すること。(令和5年10月1日現在の学年で記入すること。)

イ 専修学校の場合には正式の学校名を記入する。

ウ 兄弟等(小・中学生を除く)が学校に在学している場合は、「在学及び就学状況等証明書(様式7)」に証明を受けること。

エ 「通学区分」欄の「自宅・自宅外」は保護者と同居している場合は「自宅」を、保護者と別居している(寮・下宿等)場合は「自宅外」を選択する。

オ 専修学校の一般課程に在学している者、各種学校(予備校・職業訓練校等)に在学している者、防衛大学校、農業大学校等の文部科学省所管以外の大学校、大学等の研究生・聴講生・科目等履修生等は就学者には該当しない。

家族状況等申告書

学科・専攻等名

学年 年

学籍番号等

免除等申請者氏名(自署)

I 以下の事項について「はい」又は「いいえ」のいずれかを○で囲み、「はい」の場合は、提出書類を提出してください。
なお、この申告書により申請者の家族状況等を把握したうえで免除申請事務を行いますので、正しく記入してください。

項番	家族(生計を一にする世帯)状況等	回答	提出書類	発行機関等
1	年金(老齢年金・厚生年金、遺族基礎年金、障害者年金等)受給(4月、10月からの受給予定者を含む)者がいる	はい・いいえ	年金振込通知書(ハガキ)等の写(年金受給者全員分)	日本年金機構等
2	令和5年1月以降に就職又は転職した者がいる(パート等を含む)	はい・いいえ	給与支給(見込)証明書(様式3)	勤務先
3	申請前6ヶ月以内(令和5年4月～令和5年9月)に退職した者がいる	はい・いいえ	退職及び退職金支給証明書(様式4) 退職金支給については、退職金所得の源泉徴収票(写)でも可	勤務先
4	雇用保険基本手当(失業給付)受給者がいる	はい・いいえ	雇用保険受給資格者証の写(受給額のわかるもの)	ハローワーク
5	雇用継続給付(高齢雇用継続給付、育児休業給付、介護休業給付)受給者がいる	はい・いいえ	・高齢雇用継続給付支給決定通知書の写(受給額のわかるもの) ・育児休業給付金支給決定通知書の写(受給額のわかるもの) ・介護休業給付金支給決定通知書の写(受給額のわかるもの)	勤務先又はハローワーク
6	免除申請者と生計を一にする者のうち、無収入かつ「所得額・課税額証明書」の発行ができない、または困難な事情がある者がいる ^{*1}	はい・いいえ	無収入申立書(様式5)	
7	児童扶養手当受給世帯 ^{*2}	はい・いいえ	児童扶養手当受給証の写(受給額のわかるもの)	市区町村役場
8	特別児童扶養手当受給世帯 ^{*3}	はい・いいえ	特別児童扶養手当受給証の写(受給額のわかるもの)	市区町村役場
9	被爆者健康管理手当受給者がいる	はい・いいえ	被爆者健康管理手当証の写(受給額のわかるもの)	市区町村役場
10	傷病手当受給者がいる	はい・いいえ	傷病手当金支給決定通知書の写(受給額のわかるもの)	全国健康保険協会等
11	生活保護法による扶助費受給世帯	はい・いいえ	保護決定(変更)通知書の写(受給額のわかるもの)	福祉事務所
12	児童手当(旧子ども手当)受給世帯 ^{*4}	はい・いいえ	児童手当認定通知書の写(受給額のわかるもの)	市町村役場 ※公務員の場合は勤務先
13	事業所得 ^{*5} により収入を得ている者がいる または2022年分の確定申告をした者がいる	はい・いいえ	確定申告書(控)の写(事業所得のある方の全員分) ※所得証明書と同じ年度のもの	税務署
14	転作奨励金等の交付を受けている者がいる	はい・いいえ	所得補償交付金等、転作奨励金の支給額がわかるもの	農協・市区町村役場
15	申請前6ヶ月以内(令和5年4月～令和5年9月)に保険金を受け取った者がいる	はい・いいえ	保険金支払い通知書の写	保険会社等
16	申請前6ヶ月以内(令和5年4月～令和5年9月)に資産の譲渡を受けた者がいる	はい・いいえ	確定申告書(控)の写又は売買契約書の写	税務署
17	申請前6ヶ月以内(令和5年4月～令和5年9月)に山林所得があった者がいる	はい・いいえ	確定申告書(控)の写又は売買契約書の写	税務署
18	申請前6ヶ月以内(令和5年4月～令和5年9月)にその他の臨時所得があった者がいる	はい・いいえ	受領額がわかるもの	税務署

項番	家族（生計を一にする世帯）状況等	回答	提出書類	発行機関等
19	親戚・知人等からの援助や養育費等を受けている世帯	はい・いいえ	援助者等の署名押印による援助額の年額を記載した申立書（様式任意）	援助者等 ※援助者等による署名押印が困難な事情がある場合は保護者
20	申請者が給付型（返済不要）の奨学金を受給している	はい・いいえ	奨学金決定通知書の写（申請の前年度1年間に実際に受けた額がわかるもの、申請年度の受給（見込）額がわかるもの）	給付者等
21	母子・父子世帯等	はい・いいえ	母子・父子世帯等申出書（様式6）	
22	申請者（学生本人）の他に就学者がいる	はい・いいえ	在学及び就学状況等証明書（様式7） ※兄弟等が小中学校児童生徒、本校学生の場合は不要	就学者のいる学校
23	障害者（申請者本人を含む）がいる、または要介護3以上の認定を受けている者がいる	はい・いいえ	・身体障害者手帳等の写 ・介護保険被保険者証の写	
24	申請時において6ヶ月以上にわたり療養中若しくは療養を要する者がいる（介護保険法により、要介護認定を受けている者がいる世帯を含む）	はい・いいえ	・長期療養者に係る支出（見込）額等申立書（様式8）及び長期療養証明書（様式8-1） ・申請前6ヶ月間に経常的に支出している金額を証明できるもの（領収書等） 高額療養費制度等、健康保険等によって医療給付を受ける金額及び損害賠償等によって補てんされる金額がある場合はその金額がわかるもの	・病院等 ・看護人 ・薬局 ・介護サービス提供事業者
25	主たる学資負担者（家計支持者）が別居している世帯	はい・いいえ	・主たる学資負担者（家計支持者）別居に係る支出（見込）額等申立（様式9） ・直近3ヶ月間の家賃及び光熱水道費の金額を証明できるもの（領収書等）	
26	授業料納付期限前6ヶ月（新入生は1年）以内に学生若しくは学資負担者が風水害等の災害※6、盗難等の被害を受けた世帯	はい・いいえ	罹（被）災証明書又は盗難届の証明書（届出受理番号等） ・日常生活の必需品に被害を受けた場合は、最低限度の衣料、家具の購入費、修理費等（生活必需品に限る）に関する領収書等 ・生産手段（田・畑・店舗等）に被害を受けた場合は、長期にわたって収入減を予想される年間金額及びその事実がわかるもの	消防署・市区町村役場又は警察署
27	授業料納付期限前6ヶ月以内（新入生については入学前1年以内）に学資負担者が死亡した世帯	はい・いいえ	戸籍（除籍）謄本又は死亡を証明する書類	市区町村役場等

※1 市区町村役場で必ず、世帯全員の「所得額・課税額証明書」の請求を行ってください。その際、「無収入」を理由に当該証明書が発行されなかった者がいる場合にのみ、「無収入申立書」を提出してください。前期申請時に証明書の発行の有無が不明な者がいる場合は、回答欄は未記入のまま提出してください。なお、申請者（学生）本人・就学者（小学生等）・未就学者・未成年者等、無職の者であっても「所得額・課税額証明書」の提出は必須です。

※2 父母の離婚などで、父又は母と生計を同じくしていない子供が育成される家庭に支給される手当

※3 20歳未満で精神又は身体に障害を有する児童を家庭で看護、養育している父母等に支給される手当

※4 支給条件等は厚生労働省のホームページ等で確認してください。

※5 ①商工、工業、農・林業、漁業、その他の職業（開業医、弁護士、著述業、公認会計士、税理士、外交員、浴場業、理美容業、旅館業、クリーニング業等）にいる所得及び②利子、配当、家賃、間代、地代などの雑所得

※6 震災、風水害、火災その他の災害

（様式2 裏面）

II 家族（生計を一にする世帯）及び所得について記入してください

続柄	氏名（年齢）	区分 *家計支持者に○ 別居者に×	職業	給与所得 ^{※1}	給与所得以外の所得 ^{※2}	就学者のみ記入			
						設置区分	学校名	学年	通学区分
1 本人			高専学生	千円	千円	国立	福島工業高等専門学校	年	自宅 自宅外
2				千円	千円			年	自宅 自宅外
3				千円	千円			年	自宅 自宅外
4				千円	千円			年	自宅 自宅外
5				千円	千円			年	自宅 自宅外
6				千円	千円			年	自宅 自宅外
7				千円	千円			年	自宅 自宅外
8				千円	千円			年	自宅 自宅外
9				千円	千円			年	自宅 自宅外
計				千円	千円				

※1 俸給、給料、賃金、歳費、年金、恩給、賞与及びこれらの性質を有する給与等（扶助料、傷病手当金等を含む）の合計額（税込、千円未満は切り捨て。複数ある場合は、千円未満を切り捨てた後に合計。）。

※2 商業、工業、農・林業、漁業、その他の職業（開業医、弁護士、著述業、公認会計士、税理士、外交員、浴場業、理美容業、旅館業、クリーニング業等）による所得、利子、配当、家賃、間代、地代などの雑所得、退職（一時）金、保険金、資産譲渡所得、山林所得等の臨時所得、親戚・知人等からの援助や養育費等、本人奨学金（給付型）などの合計額（千円未満は切り捨て。複数ある場合は、千円未満を切り捨てた後に合計。）。

以下 学校記入欄

特別の事情	特別控除額
①母子・父子世帯	千円
②就学者のいる世帯	千円
③障害者のいる世帯	千円
④長期療養者のいる世帯	千円
⑤主たる学資負担者（家計支持者）が別居している世帯	千円
⑥火災、風水害、盗難等の被害を受けた世帯	千円
⑦父母以外の者で収入を得ている者のいる世帯	千円
⑧本人を対象とする控除	千円
計	千円

(様式3)

提出日 令和 年 月 日

※前期は4月1日、後期は10月1日現在の状況を記入してください。

給与支給（見込）証明書

事業所代表者 殿

就業者氏名（自署）

住所

次の者の授業料免除等を申請するため、下記事項について証明願います。

高専名	福島工業高等専門学校
学科・専攻	
学年	
氏名	
申請者との続柄	

記

1. 採用年月日 平成 / 令和 年 月 日

2. 採用の形態 常勤 非常勤（パート等）

3. 採用の翌月から1年間の給与支給（見込）額

円

4. 直近3ヶ月分の給与支給額等

※3に記入がある場合は記入不要です。

令和 年 月 支給額 円

令和 年 月 支給額 円

令和 年 月 支給額 円

5. 賞与（ボーナス）等の有無 有 無

上記のとおり証明します。

令和 年 月 日

事業所名

事業所所在地

連絡先

代表者名

印

(様式4)

提出日 令和 年 月 日

※前期は4月1日、後期は10月1日現在の状況を記入してください。

退職及び退職金支給証明書

事業所代表者 殿

氏名 (自署) _____

住所 _____

次の者の授業料免除等を申請するため、下記事項について証明願います。

高専名	福島工業高等専門学校
学科・専攻	
学年	
氏名	
申請者との続柄	

記

1. 退職年月日 令和 年 月 日

2. 退職者氏名 _____

3. 退職金の有無 有 無

退職金支給日 令和 年 月 日

退職金支給額 _____ 円

上記のとおり証明します。

令和 年 月 日

事業所名 _____

事業所所在地 _____

連絡先 _____

代表者名 _____ 印

(様式6)

提出日 令和 年 月 日

※前期は4月1日、後期は10月1日現在の状況を記入してください。

母子・父子世帯等申立書

福島工業高等専門学校長 殿

学科・専攻等名

学年 年 学籍番号等

免除申請者氏名（自署）

保護者（申請者との続柄 ）

氏名（自署）

住所及び電話番号

〒 TEL ()

世帯状況等は下記のとおりです。

記

- 母子・父子世帯等の別 母子世帯 父子世帯 その他
- 母子・父子世帯等となった事由 生別 死別 （左記の事由の発生日： 年 月 日）
- 以下の手当等のうち、現在受給されているもの
 - 親戚・知人等からの援助及び養育費等
※援助者等の署名押印（援助者による署名押印が困難な事情がある場合は保護者）による援助額の年額を記載した申立書（様式任意）を提出してください。
 - 児童扶養手当
※児童扶養手当受給証の写しを提出してください。
 - 遺族基礎年金
※年金振込通知書（ハガキ）等の写を提出してください。

(様式7)

提出日 令和 年 月 日

※前期は4月1日、後期は10月1日現在の状況を記入してください。

在学及び就学状況等証明書

証明を依頼する者（貴学に就学している者）

学部・学科・専攻等名 _____

学年 _____ 年 学籍番号 _____

氏名（自署） _____

次の者の授業料免除等を申請するため、下記事項について証明願います。

高専名	福島工業高等専門学校
学科・専攻	
学年	
氏名	
申請者との続柄	

記

1. 通学状況 自宅 自宅外 _____

2. 設置区分・学校種別

設置 区分	<input type="checkbox"/> 国立	学校 種別	<input type="checkbox"/> 大学・短期大学	<input type="checkbox"/> 専修学校（専門課程）
	<input type="checkbox"/> 公立		<input type="checkbox"/> 高等専門学校	<input type="checkbox"/> 専修学校（高等課程）
	<input type="checkbox"/> 私立		<input type="checkbox"/> 高等学校	<input type="checkbox"/> 中等教育学校（後期課程）
			<input type="checkbox"/> その他（ _____ ）	

3. 令和4年度の授業料免除状況等（国立学校のみ記入願います）

前期	<input type="checkbox"/> 全額免除 <input type="checkbox"/> 半額免除 <input type="checkbox"/> 不許可 <input type="checkbox"/> 申請無	免除額 _____ 円
後期	<input type="checkbox"/> 全額免除 <input type="checkbox"/> 半額免除 <input type="checkbox"/> 不許可 <input type="checkbox"/> 申請無	免除額 _____ 円

授業料年額 _____ 円

上記のとおり証明します。

令和 年 月 日

学校名 _____

所在地 _____

連絡先 _____

担当者役職・氏名等 _____ 印

※証明する方は事務担当者で結構です。

(様式8)

提出日 令和 年 月 日

※前期は4月1日、後期は10月1日現在の状況を記入してください。

長期療養者に係る支出（見込）額等申立書

福島工業高等専門学校長 殿

学科・専攻等名 _____

学年 _____ 年 学籍番号等 _____

免除申請者氏名（自署） _____

保護者（主たる学資負担者）（申請者との続柄 _____）

氏名（自署） _____

住所及び電話番号

〒 _____ TEL _____（ ） _____

免除申請者と生計を一にする長期療養者に係る支出（見込）額等は下記のとおりです。

記

氏名	申請者との続柄	現住所
		〒 _____

1 直近6ヶ月間の支出状況等

	①診療費等経常的に支出している金額（自己負担額※）	②損害賠償等によって補てんされる金額	計（①－②）
年 月分			
年 月分			
年 月分			
年 月分			
年 月分			
年 月分			
計			

※医療保険・介護保険等の適用があるもののうち自己負担分を記入して下さい。

※申請前6ヶ月間に経常的に支出している金額を証明できるもの（領収書等）を添付して下さい。

2 今後1年間の支出（見込）額 _____ 円

※「長期療養者」とは、申請時現在において6ヶ月以上にわたる期間療養中の者又は療養を必要と認められる者です。療養が終わっている者は該当しません。療養の期間・内容については医師の証明書等で確認します。

※「2 今後1年間の支出見込額」には、今後の療養見込期間を考慮し、年間の療養期間に見合った支出金額（千円未満切り捨て）を見込金額として記入してください。年間支出見込金額の計算にあたっては、直近6ヶ月間（療養期間が6ヶ月未満の場合は、全期間）の月額平均を1.2倍したものを年間支出見込金額としてください。

※長期療養者が複数いる場合は、療養者ごとに申立書を作成し、証明書を添付して提出してください。

※裏面参照

※対象費目等

①対象費目（保険適用分に限る）
医師又は歯科医師への診療・治療費
病院，診療所への入院費用
マッサージ師，はり師，きゅう師，柔道整復師等の治療費
治療又は療養のための医薬品費（治療用装具含む）
病院，診療所に通院するための交通費（必要不可欠なものに限る）
看護人に対して支払う費用（賄い費を含む）
介護保険法により「要介護認定・要支援認定」を受けた者がサービスを利用した場合の自己負担額
※高額療養費制度等，健康保険等によって医療給付を受ける金額及び損害賠償等によって補てんされる金額を除く。 ※老人ホームの入所費や光熱費，差額ベッド代，食費は含まない。 ※食事療養費，保険適用外の文書料は含まない。
②必要となる証明書等
<ul style="list-style-type: none"> ・長期療養証明書（様式 8-1） ・経常に支出している金額を証明できるもの（領収書等） ・高額療養費制度等，健康保険等によって医療給付を受ける金額及び損害賠償等によって補てんされる金額がわかるもの

長期療養証明書

令和 年 月 日

※前期は4月1日、後期は10月1日現在の
状況を記入してください。

診 療 機 関 殿

受診者氏名(自著)

住所

このたび、私の(続柄) _____ (氏名) _____ が、在学する
福島工業高等専門学校の授業料免除を申請するため、下記について証明をお願いします。

記

傷病名	
診療開始日	平成/令和 年 月 日
療養終了見込 (いずれかの□にレ)	<input type="checkbox"/> 令和 年 月 ごろ <input type="checkbox"/> 未定 (引き続き6ヶ月以上の療養が見込まれる)
上記のとおり相違ないことを証明します。 <p style="text-align: right;">令和 年 月 日</p> <p style="text-align: center;">所在地 電話番号 医療機関名 医師名等</p> <p style="text-align: right;">印</p>	

※ 申請時現在において、6ヶ月以上にわたる期間療養中の者、または療養を必要と認められる者について
証明願います。

(様式9)

提出日 令和 年 月 日

※前期は4月1日、後期は10月1日現在の状況を記入してください。

主たる学資負担者（家計支持者）別居に係る支出（見込）額等申立書

福島工業高等専門学校長 殿

学科・専攻等名 _____

学年 _____ 年 学籍番号 _____

免除申請者氏名（自署） _____

保護者（主たる学資負担者）（申請者との続柄 _____）

氏名（自署） _____

住所及び電話番号

〒 _____ 市 _____ 区 _____ 丁目 _____ 番 _____ 号 _____ 電話 _____ (_____) _____

主たる学資負担者（家計支持者）の別居に係る今後1年間の支出（見込）額等は下記のとおりです。

記

1 別居（見込）期間等

別居（見込）期間	年 月 日 ~ 年 月 日
勤務先名等	

2 直近3ヶ月間の支出状況等

年 月分	住居費	光熱費等			計
		電気	ガス	水道	
年 月分					
年 月分					
年 月分					
計					

※領収書の写等、主たる学資負担者（家計支持者）が支出した金額のわかるものを添付すること

3 今後1年間の支出（見込）額 _____ 円

※「別居」とは、申請時現在において、現に別居中であることをいいます。

※今後の別居見込期間を考慮し、年間の別居期間に見合った支出金額（千円未満切り捨て）を見込金額として記入してください。年間支出見込金額の計算にあたっては、直近3ヶ月間（別居期間が3ヶ月未満の場合は、全期間）の月額平均を1.2倍したものを年間支出（見込）金額としてください。

※住居費においては、会社等が住居費を直接支払っている部分については記入しないでください。